

令和 8 年 8 月 2 5 日

交 通 事 故 概 況

令和 8 年 7 月 末 計 上 数 (確 定 数)

警 察 本 部 交 通 部 交 通 企 画 課

北海道の交通事故概況（7月末計上数（確定数））

1 令和8年7月末の交通事故発生状況

区分\内容	7月中		7月末	
		前年比		前年比
発生件数（件）	693	-17	5,102	588
死者数（人）	15	5	49	-10
傷者数（人）	793	-27	6,032	818

[過去10年、7月末の推移]

区分\年別	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年	R7年	過去平均		R8年
											10か年	5か年	
7月中死者数	13	17	13	16	15	14	13	21	11	10	14	14	15
7月末死者数	75	75	75	69	69	66	56	64	52	59	66	59	49
年間死者数	158	148	141	152	144	120	115	131	104	129	134	120	

都道府県別（7月中）

順位	1	2	3	4	5
都道府県名	茨城	北海道	埼玉	千葉	大阪
死者数	16	15	14	12	11

都道府県別（7月末）

順位	1	2	3	4	10
都道府県名	神奈川	愛知	東京	兵庫	千葉
死者数	77	75	74	70	49

2 交通死亡事故の発生状況（主なもの）

(1) 7月中の死亡事故（死者15人）

- 事故類型別：出会い頭が5人（33.3%）が車両単独3人（20.0%）
- 道路別：国道が8人（53.3%）、市町村道が5人（33.3%）
- 地形・道路形状別：市街地交差点が7人（46.7%）、市街地直線、非市街地交差点、非市街地直線、非市街地カーブが各々2人（13.3%）
- 発生時間別：16～18時が3人（20.0%）、4～6時、8～10時、18～20時、20～22時が各々2人（13.3%）
- 第一当事者年齢別（1当原付以上）：50歳代運転者が5人（33.3%）、40歳代運転者、高齢運転者が各々3人（20.0%）
- 第一当事者違反別（1当原付以上）：一時不停止が3人（20.0%）、操作不適、前方不注意が各々2人（13.3%）
- 死者年齢別：高齢者の死者が7人（46.7%）、50歳代が死者が4人（26.7%）

(2) 7月末の死亡事故（死者49人）

- 事故類型別：
 - ・ 人対車両が17人34.7%（うち歩行者妨害、前方不注意が各々6人35.3%）
 - ・ 車両単独が15人30.6%（うち操作不適が4人26.7%、前方不注意が3人20.0%）
- 道路別：
 - ・ 国道が19人38.8%（うち人対車両、正面衝突が各々5人26.3%）
 - ・ 市町村道が14人28.6%（うち人対車両が8人57.1%、車両単独が3人21.4%）
 - ・ 道道が11人22.4%（うち車両単独が6人54.5%、人対車両、出会い頭が各々2人18.2%）
- 地形・道路形状別：
 - ・ 市街地交差点が17人34.7%（うち人対車両が9人52.9%、出会い頭が3人17.6%）
 - ・ 市街地直線が11人22.4%（うち人対車両が6人54.5%、車両単独が4人36.4%）
- 発生時間別：
 - ・ 8～10時が8人16.3%（うち車両単独が5人62.5%、人対車両、正面衝突、出会い頭が各々1人12.5%）
 - ・ 18～20時が7人14.3%（うち人対車両が6人85.7%、出会い頭が1人14.3%）
- 第一当事者年齢別：（1当原付以上）
 - ・ 高齢運転者による死者が15人30.6%（うち車両単独が6人40.0%、人対車両、正面衝突が各々3人20.0%）
 - ・ 50代運転手による死者が10人20.4%（うち人対車両が4人40.0%、出会い頭が3人30.0%）
- 第一当事者違反別：（1当原付以上）
 - ・ 前方不注意が11人22.4%（うち人対車両が6人54.5%、車両単独が3人27.3%）
 - ・ 操作不適が8人16.3%（うち車両単独が4人50.0%、正面衝突が3人37.5%）
- 死者年齢別：
 - ・ 高齢者の死者が28人57.1%（うち人対車両が13人46.4%、車両単独が8人28.6%）
 - ・ 50歳代の死者が7人14.3%（うち出会い頭が3人42.9%、車両単独が2人28.6%）
- シートベルト非着用者：
 - 自動車（二輪を除く）乗車中の死者26人中、シートベルト非着用者は13人（50.0%）であり、そのうち10人（77.0%）がシートベルトを着用していれば助かった可能性が高い。
- 6月末30日死者：
 - 歩行者が6人、4輪乗車中、自転車各々1人交通事故発生後24時間以上30日以内に死亡している。

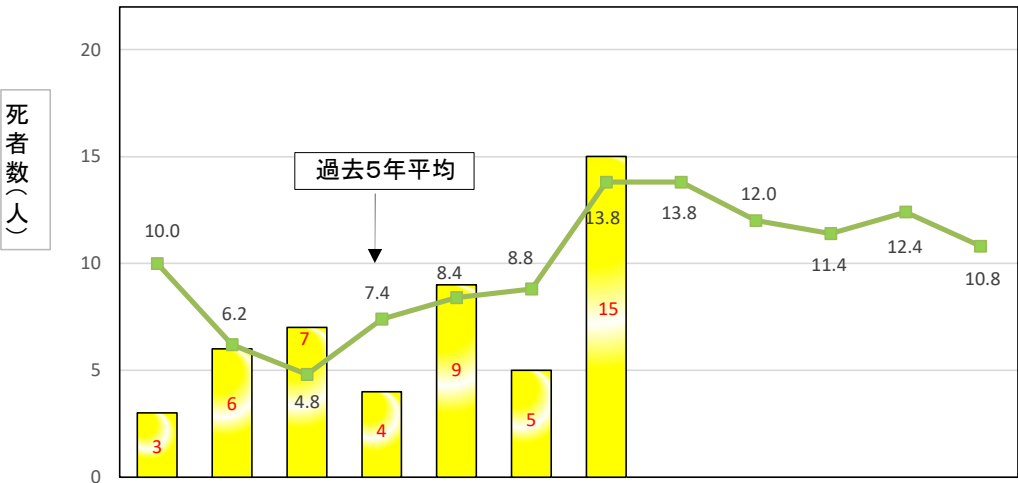
(3) 方面別発生状況

7月中の死者数は、札幌方面が10人(66.7%)、旭川方面が3人(20.0%)、函館方面、釧路方面が各々1人(6.7%)となっている。
7月末の死者数は、札幌方面が29人(59.2%)、釧路方面8人(16.3%)、旭川方面が6人(12.2%)、函館方面が4人(8.2%)、北見方面が2人(4.1%)となっている。

方面別\区分		発生件数	前年比	死者数	前年比	傷者数	前年比
7月中	全道	693	-17	15	5	793	-27
	札幌方面	511	-13	10	5	583	-26
	函館方面	55	1	1		65	6
	旭川方面	57	-1	3	1	65	2
	釧路方面	55		1		58	-9
	北見方面	15	-4		-1	22	
7月末	全道	5,102	588	49	-10	6,032	818
	札幌方面	3,841	532	29		4,541	727
	函館方面	320	17	4		394	28
	旭川方面	469	50	6	-1	559	78
	釧路方面	355	-7	8	-4	396	-17
	北見方面	117	-4	2	-5	142	2

(4) 月別発生状況の推移

7月中の死者数は15人で過去5年平均13.8人を上回っている。
7月末の死者数は49人で過去5年平均59.4人を下回っている。



区分\月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
令和8年	3	6	7	4	9	5	15						49
年間累計	3	9	16	20	29	34	49						
過去5年平均	10.0	6.2	4.8	7.4	8.4	8.8	13.8	13.8	12.0	11.4	12.4	10.8	119.8
累計平均	10.0	16.2	21.0	28.4	36.8	45.6	59.4	73.2	85.2	96.6	109.0	119.8	

(5) 都道府県別死者数

7月中は茨城県が16人で最も多く、次いで北海道が15人、埼玉県が14人、千葉県が12人、大阪府が11人となっている。
7月末は神奈川県が77人で最も多く、次いで愛知県が75人、東京都が74人、兵庫県及び千葉県が各々70人、北海道は49人で10位となっている。

区分\都道府県	茨城	北海道	埼玉	千葉	大阪	兵庫	福岡	神奈川	東京	愛知	全国
7月中死者数	16	15	14	12	11	10	10	9	9	8	220
ワースト順位	1	2	3	4	5	6	6	8	8	10	—
前年比	12	5	8	3	1	3	5	-3	3	0	35
増減率(%)	300.0	50.0	133.3	33.3	10.0	42.9	100.0	-25.0	50.0	0.0	18.9

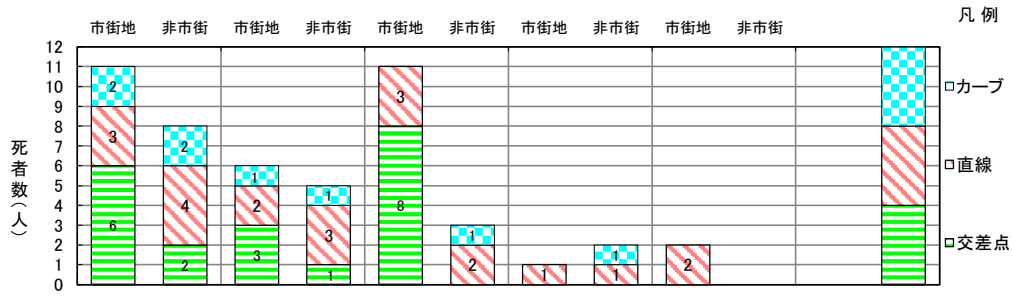
区分\都道府県	神奈川	愛知	東京	兵庫	千葉	茨城	大阪	福岡	埼玉	北海道	全国
7月末死者数	77	75	74	70	70	68	62	54	54	49	1,382
ワースト順位	1	2	3	4	5	6	7	8	8	10	—
前年比	2	17	0	21	4	22	-6	8	-8	-10	36
増減率(%)	2.7	29.3	0.0	42.9	6.1	47.8	-8.8	17.4	-12.9	-16.9	2.7

3 7月末の死亡事故の特徴

(1) 道路別

国道が19人(38.8%)、市町村道が14人(28.6%)、道道11人(22.4%)となっている。

- ・ 国道は、市街地交差点が6人(31.6%)、市街地直線が3人(15.8%)
- ・ 市町村道は、市街地交差点が8人(57.1%)、市街地直線が3人(21.4%)
- ・ 道道は、市街地交差点が、非市街地直線が各々3人(27.3%)

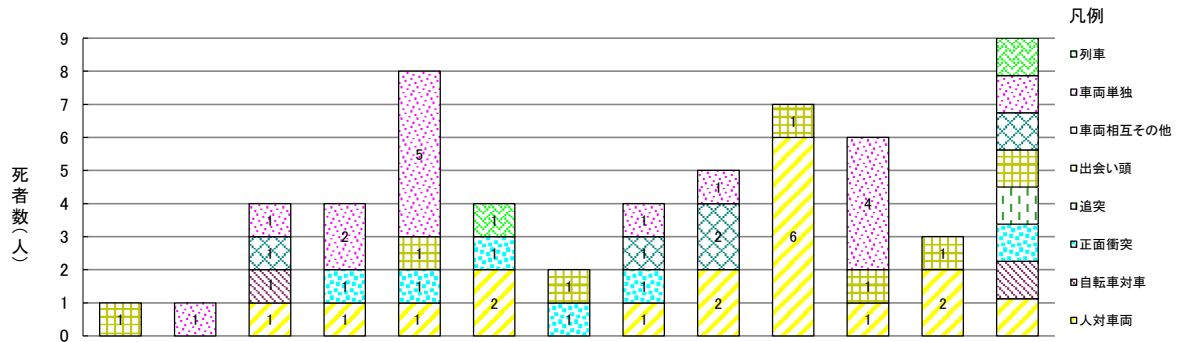


区分\道路別	国 道	道 道	市町村道	高速道路	その他の道路	計
死 者 数	19	11	14	3	2	49
構 成 率 (%)	38.8	22.4	28.6	6.1	4.1	100.0
過去5年構成率	36.7	24.2	29.0	3.0	7.1	100.0

(2) 時間別

8～10時が8人(16.3%)、18～20時が7人(14.3%)となっている。

- ・ 8～10時は、車両単独が5人(62.5%)、人対車両、正面衝突、出会い頭が各々1人(12.5%)
- ・ 18～20時は、人対車両が6人(85.7%)、出会い頭が1人(14.3%)

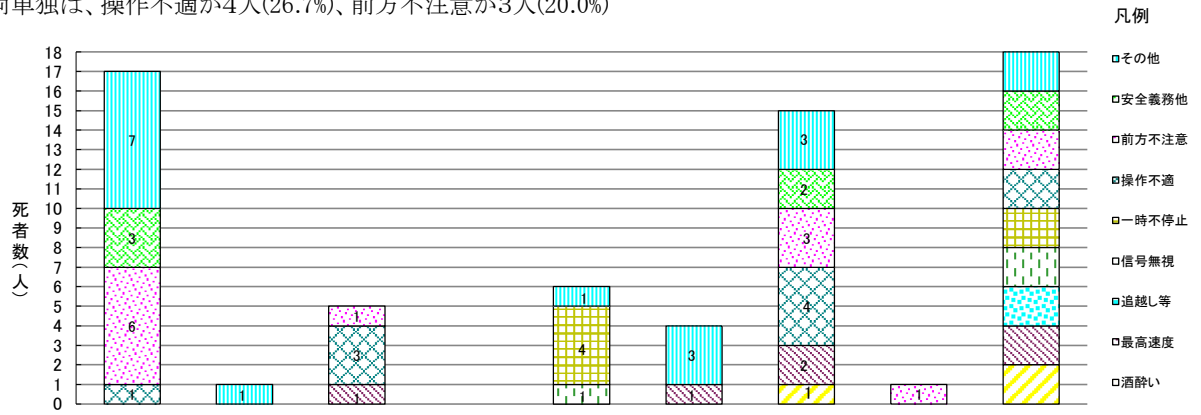


区分\時間別	0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～24	計
死 者 数	1	1	4	4	8	4	2	4	5	7	6	3	49
構 成 率 (%)	2.0	2.0	8.2	8.2	16.3	8.2	4.1	8.2	10.2	14.3	12.2	6.1	100.0
過去5年構成率	2.4	2.4	5.4	8.8	11.4	14.8	14.8	11.4	9.8	8.4	6.7	3.7	100.0

(3) 事故類型別

人対車両が17人(34.7%)、車両単独が15人(30.6%)となっている。

- ・ 人対車両は、その他(歩行者妨害を含む)が7人(41.2%)、前方不注意が6人(35.3%)
- ・ 車両単独は、操作不適が4人(26.7%)、前方不注意が3人(20.0%)

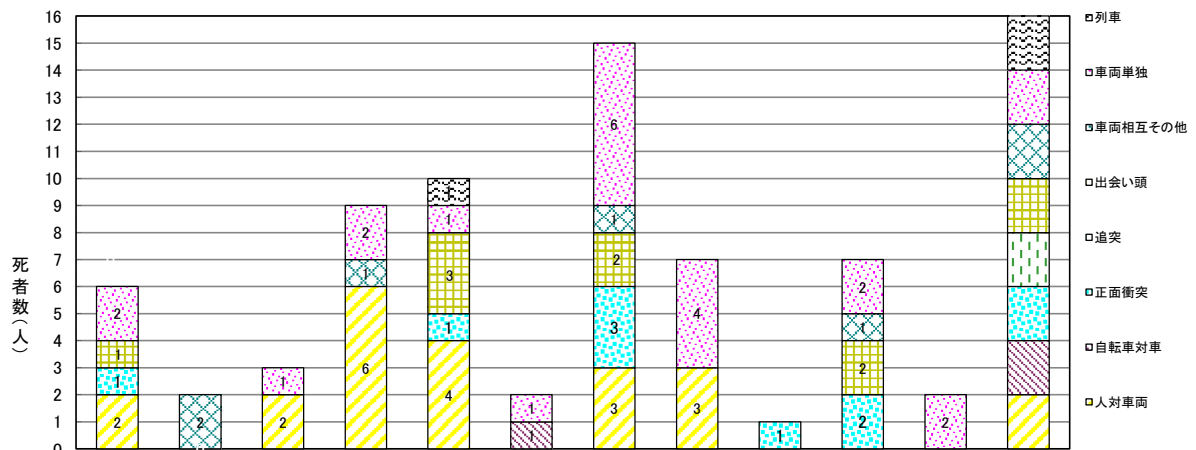


区分\事故類型別	人対車両	自転車対車	車 両 相 互	車 両 単 独	列 車	計
死 者 数	17	1	5	15	1	49
構 成 率 (%)	34.7	2.0	10.2	30.6	2.0	100.0
過去5年構成率	28.3	4.0	21.9	32.7	0.7	100.0

(4) 第一当事者の年齢層別:

- 高齢運転者が15人(30.6%)、50歳代の運転者が10人(20.4%)
- ・ 高齢運転者は、車両単独が6人(40.0%)、人対車両、正面衝突が各々3人(20.0%)
 - ・ 50歳代運転者は、人対車両が4人(40.0%)、出会い頭3人(30.0%)

凡例



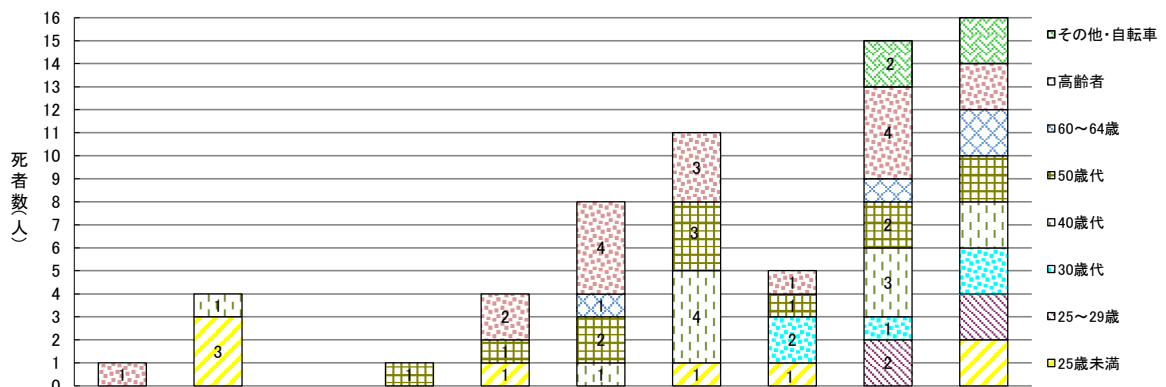
区分\年齢別	25歳未満	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者	65～69歳	70～74歳	75歳以上	歩行者等・不明	計
死 者 数	6	2	3	9	10	2	15	7	1	7	2	49
構 成 率 (%)	12.2	4.1	6.1	18.4	20.4	4.1	30.6	14.3	2.0	14.3	4.1	100.0
過去5年構成率	7.4	4.0	6.1	17.2	15.5	8.8	34.7	11.8	9.1	13.8	6.4	100.0

構成率は全死者に対する割合

(5) 第一当事者の違反

- その他(歩行者妨害を含む)が15人(30.6%)、前方不注意が11人(22.4%)となっている。
- ・ その他(歩行者妨害を含む)は、高齢運転者による死者が4人(26.7%)、40歳代運転者が3人(20.0%)
 - ・ 前方不注意は、40歳代運転者が4人(36.4%)、50歳代運転者、高齢運転者による死者が各々3人(27.3%)

凡例

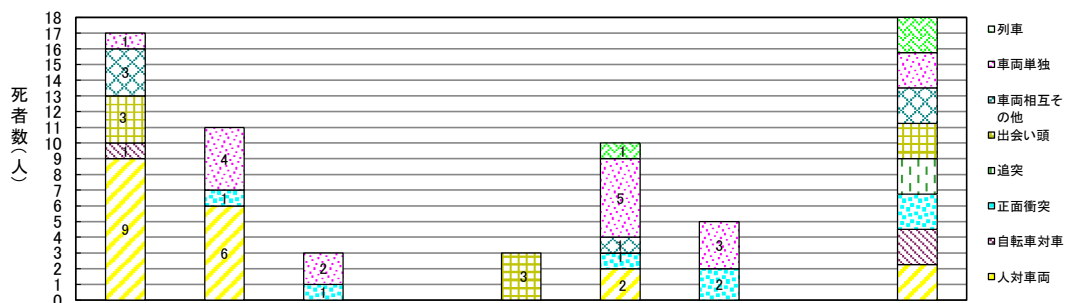


区分\原因別	酒酔い	最高速度	追越し等	信号無視	一時不停止	安全運転義務違反			その他	計
						操作不適	前方不注意	その他		
死 者 数	1	4		1	4	8	11	5	15	49
構 成 率 (%)	2.0	8.2		2.0	8.2	16.3	22.4	10.2	30.6	100.0
過去5年構成率	1.7	10.1	1.0	4.0	3.4	14.5	32.0	12.8	20.5	100.0

(6) 地形・道路形状別

- 市街地交差点が17人(34.7%)、市街地直線が11人(22.4%)となっている。
- ・ 市街地交差点は、人対車両が9人(52.9%)、出会い頭が3人(17.6%)
 - ・ 市街地直線は、人対車両が6人(54.5%)、車両単独が4人(36.4%)

凡例

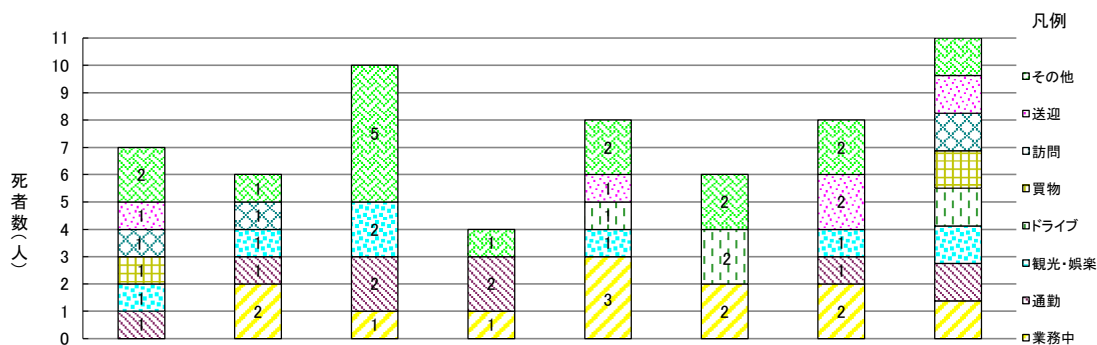


地形道路形状別 区分\	市 街 地				非 市 街 地				計
	交差点	直 線	カーブ	小 計	交差点	直 線	カーブ	小 計	
死 者 数	17	11	3	31	3	10	5	18	49
構 成 率 (%)	34.7	22.4	6.1	63.3	6.1	20.4	10.2	36.7	100.0
過去5年構成率	28.6	17.2	4.7	50.5	5.7	23.9	19.9	49.5	100.0

(7) 曜日別

火曜日が10人(20.4%)、木曜日、土曜日が各々8人(16.3%)となっている。

- ・火曜日は、通勤、観光が各々2人(20.0%)
- ・木曜日は、業務中が3人(37.5%)、観光、ドライブ、送迎が各々1人(12.5%)
- ・土曜日は、業務中、送迎が各々2人(25.0%)

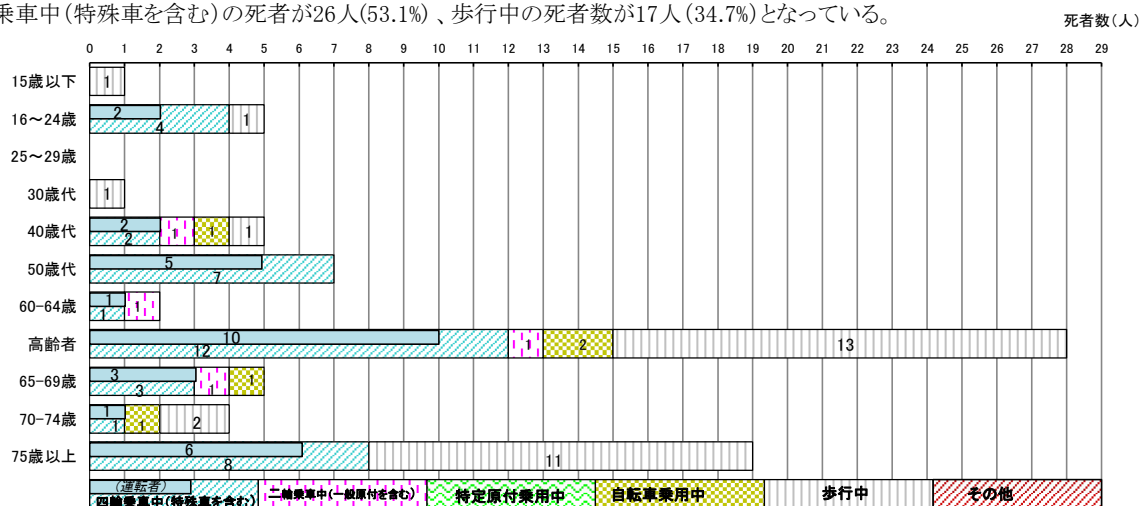


区分\曜日別	日	月	火	水	木	金	土	計
死者数	7	6	10	4	8	6	8	49
構成率 (%)	14.3	12.2	20.4	8.2	16.3	12.2	16.3	100.0
過去5年構成率	16.8	14.5	17.2	11.1	12.5	15.8	12.1	100.0

(8) 状態別・年齢層別

年齢層別死者数では、高齢者の死者が28人(57.1%)、50歳の死者が7人(14.3%)となっている。

四輪乗車中(特殊車を含む)の死者が26人(53.1%)、歩行中の死者数が17人(34.7%)となっている。



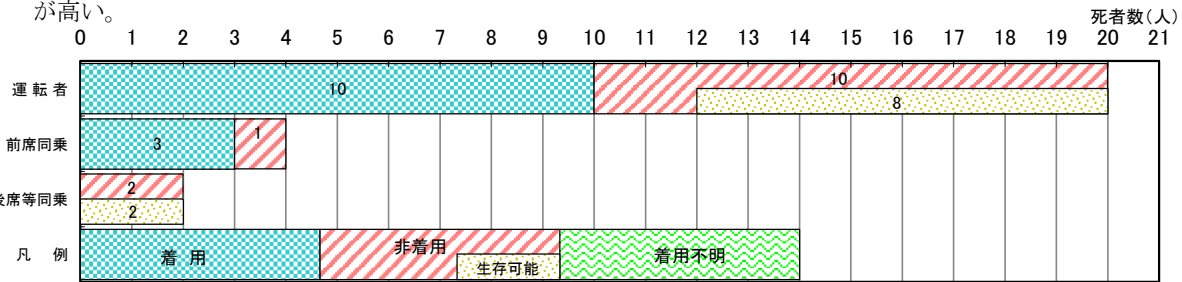
状態別 年齢層別	四輪乗車中 (特殊車を含む)	二輪乗車中 (一般原付を含む)	特定原付乗車中	自転車乗用中	歩行中	その他	計	構成率	5年構成率
15歳以下 死者数					1		1	2.0	2.7
16~24歳 死者数	4				1		5	10.2	4.4
25~29歳 死者数									1.7
30歳代 死者数					1		1	2.0	6.1
40歳代 死者数	2	1		1	1		5	10.2	9.8
50歳代 死者数	7						7	14.3	13.8
60~64歳 死者数	1	1					2	4.1	6.7
高齢者 死者数	12	1		2	13		28	57.1	54.9
65~69歳 死者数	3	1		1			5	10.2	12.1
70~74歳 死者数	1			1	2		4	8.2	11.1
75歳以上 死者数	6				11		17	34.7	31.6
計 死者数	26	3		3	17		49	100.0	
計 構成率	53.1	6.1		6.1	34.7		100.0	—	—
計 過去5年構成率	52.5	11.8		6.1	29.0	0.7	100.0	—	—

注 高齢者の内訳の構成率は全死者に対する割合。

(9) シートベルト着用状況別

ア 乗車区分別

四輪乗車中の死者26人中、シートベルト非着用者は13人(50.0%)となっている。
非着用者の13人のうち10人(76.9%)は、車両の破損状況等から見て、シートベルトを着用していれば生存していた可能性が高い。



状態別 区分	四輪 乗車中 等	着 用				計	非 着 用				計	着 用 不 明	
		計	運 転 者	同 乗 者			運 転 者	同乗者(助手席)		同乗者(後部席)			
				助手席	後部席			生存可	生存可	生存可			生存可
令和8年	26	13	10	3	13	10	8	1	2	2			
構成率(%)	100.0	50.0	76.9	23.1	50.0	76.9	80.0	7.7	15.4	100.0			

イ 年齢層別

シートベルト非着用者を年齢層別にみると、高齢者が6人(46.2%)、50歳代が3人(23.1%)となっている。

区分\年齢別	25歳未満	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者	65～69歳	70～74歳	75歳以上	その他・不明	計
ヘルト着用	2			1	4		6	1	1	4		13
構成率(%)	15.4			7.7	30.8		46.2	7.7	7.7	30.8		100.0
ヘルト非着用	2			1	3	1	6	2		4		13
構成率(%)	15.4			7.7	23.1	7.7	46.2	15.4		30.8		100.0

注 構成率は区分別の合計数に対する割合。
高齢者の内訳の構成率は合計数に対する割合。

ウ 損傷加害部位別

シートベルト非着用者13人の損傷加害部位をみるとハンドルが5人(38.5%)、計器盤、ドア・窓、座席が各々2人(15.4%)となっている。

区分\部位別	車外放出	車外他	ハンドル	Fガラス	計器盤	ドア・窓	柱	天井	座席	室内他	シートベルト	他・不明	計
ヘルト着用			1		1	2		1	4	2	2		13
構成率(%)			7.7		7.7	15.4		7.7	30.8	15.4	15.4		100.0
ヘルト非着用	1		5		2	2			2	1			13
構成率(%)	7.7		38.5		15.4	15.4			15.4	7.7			100.0
運 転 者	1		5		1	1			1	1			10
構成率(%)	7.7		38.5		7.7	7.7			7.7	7.7			76.9
同 乗 者					1	1			1				3
構成率(%)					7.7	7.7			7.7				23.1

注 構成率は区分別の合計数に対する割合。
但し、ベルト非着用の運転同乗者別の構成率は、ベルト非着用の合計数に対する割合。